

もっと地震を知ろう もっと自信を持とう 正しい知識が正しい備えに

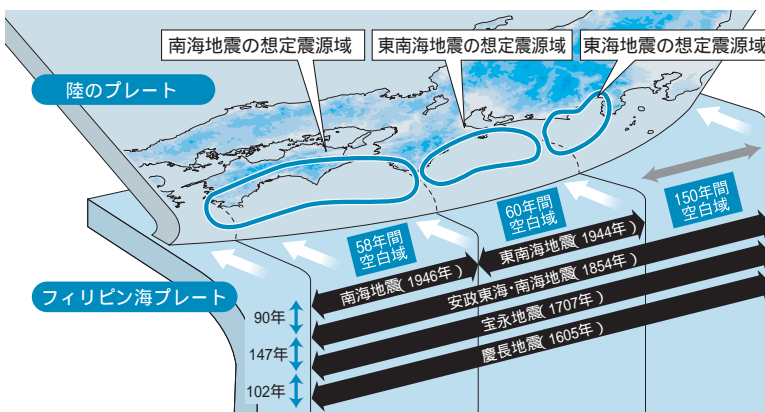
田原市は、昨年12月17日に「東南海・南海地震防災対策推進地域」に指定されました。これは、東南海・南海地震が発生した場合に著しい被害が予想されるため、地震防災対策を推進する必要がある地域とされたものです。すでに、平成14年には「東海地震防災対策強化地域」に指定されており、市としても全力で地震防災対策を進めていますが、これら大地震の同時発生も視野に入れ、より一層の備えが必要となります。なお、東海・東南海地震が同時発生したときの想定震度は、田原市においては最大で「震度6強」と予想されています。(震度と揺れの目安は、今月号21ページの「防災対策室日記」に掲載)

東南海地震とは？

紀伊半島沖を震源とする海溝型の地震で、100～150年周期で繰り返されています。直前予知が可能といわれている東海地震と違い、突然襲ってくる特徴があります。(被害想定などは、広報たはら平成15年12月号に掲載済)

過去の大規模地震の発生歴と震源域

過去の歴史を振り返ってみると、東海・東南海・南海地震は同時、あるいは、ほぼ同時期に発生していることが分かります。



東海地震の関連情報も見直されました

東海地震は唯一予知が可能といわれていますが、発生の可能性が高いと判断されたときの対応策が国により見直され、今年1月5日から適用されています。詳細は以下のとおりです。

	低	危険度	高
情報名	東海地震観測情報	東海地震注意情報	東海地震予知情報
主な対応	情報収集、連絡体制の整備	救助などの準備 児童や生徒の帰宅 工場などの閉鎖	警戒宣言の発令 市地震災害警戒本部の設置 地震防災応急対策の実施 ぐるりんバス、豊鉄バス・渥美線などは運行停止

3 2月は省エネルギー1月間 2 第3回田原市赤羽根地域審議会を開催 1 田原市が東南海・南海地震の防災対策推進地域に